

油分簡易分析計の紹介

油分含有土壌の調査や浄化対策を行う場合、油臭・油膜の判定結果やTPH分析結果を目安として評価や区分などを行いますが、現地で迅速に結果を知りたい場合、スクリーニングの目安としたい場合など、油分含有土壌の簡易分析計の活用は有効だと思います。

以下に、簡易分析計の分析手順を紹介します。

また、某現場におけるTPH(GC-FID法)による分析結果と簡易分析計による分析結果の相関図を紹介します。公定法分析に出す試料から一部を採取し現場で簡易分析を行い相関をとりました。ここでは、簡易分析の値は公定法分析の値の概ね2倍の値を示しましたが、ある程度の相関性が認められたので、現場でのスクリーニングに活用することが出来ました。

(簡易分析値は、油種を想定したチャンネル設定によって異なります)

油分含有量簡易分析計



抽出チューブに試料土を採取する



抽出液を添加

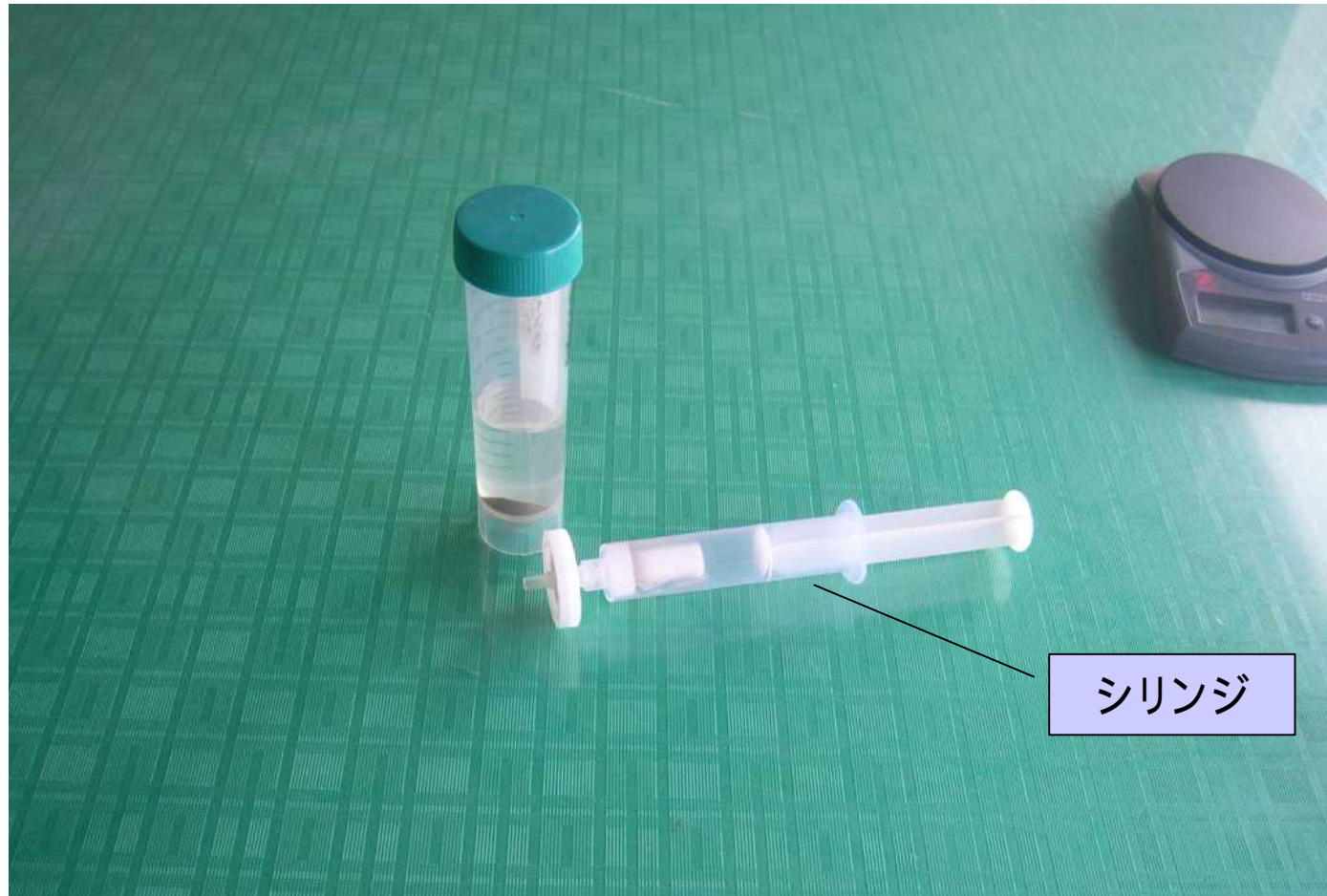


振とう攪拌により抽出



4分振とう・1分静置

抽出液をシリンジによりろ過



る液を測定バイアルに添加



測定器にバイアルをセット



測定器にバイアルをセット中

測定器により油分を測定



濁度が測定され油分濃度が表示される

某現場における簡易分析値と 公定法分析 (GC-FID) 値との関係

TPH簡易分析・公定法分析相関図

